

「意欲的に生き生きと活動する子どもの育成」

～目標に迫る授業の工夫～

I. 研究の内容

1. 理論研究

- ・全国教研春季教研の還流報告。活動を通して育てたい力を明確にすること、目の前の子どもたちの実態を具体的に把握し、それを踏まえて一人ひとりにどの力をどのようにつけていくか授業者が主体的に考えること、子ども自身が活動を振り返り自らの学びや育ちを実感することが、将来生きて働く「豊かな学力」につながる。
- ・講師に塩山南小 佐藤眞理子教頭先生をお願いし、「生活科でつけたい力・つけさせたい力」について、学習会をした。生活科はすべての学びの基本であること、「身近な環境（人々・社会・自然）とかかわる力」「五感を通して学ぶ力」「こだわり追求する力」「進んで活動する力」「豊かに表現する力」の5つの力をつけることについて、また、子どもたちの輝きや変容を地域や家庭と共有することの重要性・生活科マップの作成や活用のおお切さなど、具体例をあげて話していただいた。

2. 授業研究

- (1) 1年「いきもの大すき」 ～いきもの見つけ大きくせん～

授業者 牧丘第一小 岡村 理恵先生

教師は事前に下調べをし、一緒に活動を楽しむと同時に、子どもの思考と活動がうまくつながるよう授業の組み立てを考えた。本時は、子どもたちが、さがしたい虫ごとにグループを作り、学校周辺で生きものをさがした。雨で多くは見つからなかったが、天気が生きものに関わりあることを感じ取ったり、翌日からこれまで以上に夢中になって生き物を探す姿がみられたり、この授業が大きな原動力になったといえる。継続的な取り組みの中で、関心も高まり、虫に触れなかった子が触れるようになった。保護者の協力も大きかった。

- (2) 2年「ひろがれ わたしのもものがたり」～こんなに大きくなったよ～

授業者 奥野田小 松井仁美先生

自分の成長をふりかえり、たった一人の大切な自分に気づき、自己肯定感をもてるように配慮した実践である。本時は、小さかったころの友達の写真を見たり、誕生時と今の身長を比べたり、小さいころ使っていた服や靴を見たりした。「かわいい。」「こんなに小さかったんだ。」「ぼくの写真も見せたいな。」と小さかったころのことに関心を持ち、この後の自分探検のよい動機づけとなった。家庭への協力依頼や事前の準備がしっかりしていて、子どもたちも生き生きと活動していた。

3. 臨地研修

講師に植原彰先生をお願いし、乙女高原の自然観察をした。「よく見る」、「においを感じる」、「さわってみる」など部員も五感をとぎすまし乙女高原の自然を堪能した。木の育ちと森の未来像、人と自然のかかわり、乙女高原を今の状態に保つ意義など考

えさせられることも多かった。

4. 実践交流

各部員が、それぞれの実践を報告し合った。地域素材を生かした実践、上級生からの情報を元に取り組んだ実践、ワークシートや評価カードを使った実践など多くの実践を出し合い、交流できた。

II 研究の成果と課題

1. 本年度の成果

- ・ 活動のみの生活科でなく、どんな力をつけさせたいかをはっきりさせた授業づくりの研究ができ、何に力を入れて実践していけばよいか明らかになった。
- ・ 目標に迫る授業作りのために各校の実践報告をしたことで、お互いに学習し合うことができた。日常の取り組みや悩みや疑問なども話し合い参考になった。
- ・ 乙女高原での臨地研修では、教師自身が五感を通して学びを楽しんだり、自然とかかわったりできた。

2. 今後の課題

- ・ 「育てたい5つの力」を意識した授業づくりをし、子どもたちが主体的に学び、生き生きと活動するよう、焦点をしばってさらに研究を深めていきたい。
- ・ 授業案の簡略化・検討時間・評価項目など検討する必要がある。
- ・ 地域の特性を生かした教材、単元を開発していくこと、創意工夫した生活科カリキュラムについて、みんなで出し合い工夫改善していきたい。

III 成果物

単元で育てたい力 ひろがれ わたしのものがたり

育てたい力	おもな評価規準	手だて
身近な環境（人々・社会・自然）とかがわかる力	・自分の成長を支えてくれたたくさんの人々がいることに気づき、感謝の気持ちを持つ。	・自分の幼い頃のことを調べる課程で、感謝の気持ちが自然に現れるよう、支援する。
五感を通して学びを楽しむ力	・小さい頃のことわかる写真や品物と今の自分を見比べ、成長を実感する。	・成長が実感できるもの（幼い頃の写真や手形・足形・身につけたもの等）を用意して頂くよう、保護者に依頼しておく。
こだわり、追究する力	・小さい頃の写真や使っていた物を探したり、自分が小さかった頃のことを身近な人に聞いたりする。	・成長が実感できるものを用意して頂くよう、保護者に依頼しておく。インタビューの基本形を知らせ、練習させる。
進んで活動する力	・小さかった頃のことを進んで聞いたり、進んで成長記録をまとめたりする。	・幼い頃のエピソードなどを子どもに話して頂くよう、保護者に依頼しておく。
豊かに表現する力	・形式や体裁を工夫したり、自分の思いを書き加えたりしながら、自分の成長をまとめ、発表する。	・まとめるために必要なものを十分用意しておく。まとめ方のヒントになるものを教室に置く。

(部長沼田豊子)